

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんあんclass菊水ルーム		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2026年 2月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2026年 2月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の実体験が多く積める園外活動が豊富で、特に長期休暇に多く実施している。	身体的な特性がない限りは姿勢を重視しており、何事にもなぜ必要かのメリットを伝えている。	児童自身の目標を毎月自分で決めてもらったりなど、今後も自己決定ができる機会を積極的に作っていく。
2	習字を学べたり元教員がいたりと各々のスキルが高いため児童に対しての支援内容が豊富。	集団活動を中心に行っているため、全員がどうしたら参加できるかを常に検討している。食べ方などのマナーについて意識づけて伝えている。	児童が職員やお友達を頼れる、求めるような環境づくり。仲介に入るなどの職員の意識の向上。
3	毎日児童の良かった点を振り返りの時間に伝えており、児童の自己肯定感の向上や適切な行動を施設全体で促している。	職員が児童ひとりひとりを見る意識を大切にし、一人だけを特別扱いするのではなく、児童毎に頑張れるハードルが違うため、そのラインを見極めている。	不適切な行動が出てしまった際の児童への対処。理由や本人の意思を尊重し、次に繋げるための対話の時間がもっと必要。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や児童館、保育園との交流が少ない。	グループ内に他事業所や保育園などもあり、グループ内で交流が多いため、交流を外へ広げる認識が弱い。	自ら外へと交流を図る機会を画策する。
2	報連相など職員間のチームワークが弱い。児童に安心して通ってもらうためにも、職員一人ひとりの意識の向上と協力体制が必要。	感謝や助け合い、報連相についての意識が薄い。	施設内ミーティングで周知し、チームワークの強化を図る。
3	来所時間が遅い子への支援時間が足りない。自由時間が少なく、児童が息苦しくなにか心配。	集団活動、個別活動、振り返り、ダンス、個々の目標の時間などスケジュールが過密となっている。	支援時間の延長の検討、時間を短く内容の濃い支援の提供。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あんあんclass菊水ルーム

公表日 2026年 2月 1日

利用児童数 9名

回収数 9家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1		2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あんあんclass菊水ルーム		令和8年 2月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・元々広いが、改装して一部壁を取り払ったことにより死角が少なくなりかなり広くなった	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・常に人員配置の基準を守った配置にしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・視覚化されており、目でもわかりやすいようになっている ・各部屋に動物の名前を割り振りしており、勉強や運動・遊ぶスペースを明確に分けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・児童がわかりやすく過ごしやすい空間となっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・個室やカーテンで仕切れる部屋があって過ごしやすい ・児童が無断で使うことはないが、必要に応じて使用を促している ・メインの活動室以外に3つの個室がある	・周囲の視界が気になって個別訓練等に集中できていないと感じる場面がある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・毎日の振り返りや、毎月のミーティングで重点的に話し合うことができている ・法人全体で月間目標を定め、毎月振り返りを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・ミーティング等で周知されている ・法人独自のアンケートを実施し、必要に応じて改善している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・ミーティング等で話し合っている ・毎日の振り返りや必要に応じた面談、法人が推奨しているキャリアアップ面談も行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	・法人本部と別施設の管理者による内部監査を実施している	・外部評価の結果が周知されていないため不明
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・毎月の内部研修の実施・参加や、外部研修の案内も随時行っている。 ・他事業所との合同研修も年に数回行っている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・ホームページに掲載している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・毎月のミーティングと毎日の振り返りで職員全体で検討している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・各職員で確認し内容に修正を加えている ・毎月のミーティングと毎日の振り返りで職員全体で検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・担当制の元、児童に合わせて支援ができていると感じる ・全職員が目を通してもらっている	・共有されているが、内容を理解してもらっているかは不明
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・毎日の振り返りによって日々の行動観察の記録も取ることができている	・標準化されたツールはあるが、使用頻度が少ないのが課題
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・5領域を押さえた本人支援を設定できている	・家族支援が画一的な内容になっているため、家庭に合わせた内容に改善していく必要がある
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・話し合いのもと検討できている ・相談しながら、児童がより楽しめるように活動プログラムを検討している	・分担して行っているが担当任せになっているため、活動に対するフィードバックは欲しいと感じる

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・担当職員それぞれが特色ある活動ができている ・固定化しないよう担当職員の割り振りを行い、活動内容も同じ内容にならないよう工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・児童が楽しんで集団に参加できることを念頭に置き、相互関係を持たせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・打ち合わせに参加できない場合も役割分担などわかりやすく周知されている ・出来ていない日もあるが、活動前に行うようにしている ・毎日、職員の1日の動きをまとめたものを可視化して作成し、各職員に目を通してもらっている	・出勤時間の違いなどで打ち合わせができない日もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・10分という時間を決めて毎日行っている ・園外や行事などを計画した際には、反省や気付いた点を参加した職員全員に記入してもらっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・ICT化して徹底して行っている ・新人職員などの記録は管理者や主任が確認するようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・最低でも月に1度はミーティング内で行っている	・児発管任せになっている面もある
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・機会は少ないが、必要な際には参加できている ・現場の担当職員と児発管の2人体制で参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・連携に対して受け身なことは多いが、必要な時はこちらから動いている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		・積極的な情報共有ができていないことが課題
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	・必要に応じて支援計画書の共有を行っている	・積極的な情報共有ができていないことが課題 ・行っているか不明
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	・頻度は少ないが、事業所内での困り事や助言を求めた際に積極的に連絡をしている	・地域の児童発達支援センターやスーパーバイズについて職員に情報共有ができていない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・同法人の保育所と夏祭りや運動会を一緒にやっている	・イベントの参加はあるが交流には至っていない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・送迎時に都度伝えており、必要に応じて連絡ノートに記入を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		・情報提供のみにとどまっている ・面談時に情報提供や保護者向けのお手紙など作成しているが、研修は実施できていない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・見学时、契約時に内容をお伝えしている ・運営規定が変更になった際は保護者向けにお知らせを配布している	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・児童と面談を行い、子どもの意思や希望を尊重している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・示してはいないが、目を通してもらっている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・面談時に情報提供や保護者向けのお手紙など作成している ・就学前の時期など保護者の不安感を取り除くためにお話することもある	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4		・機会を増やせるよう改善策を検討 ・茶話会や保護者参加の親子イベントの開催はあるが、交流までは至っていない面もある ・親子レクや茶話会などの機会は設けているが、多くのご家庭に参加してもらえていないため、より参加しやすく工夫する必要がある ・きょうだい同士の交流機会も少ない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・必ず即時対応している ・その場ではお答えすることが難しい場合、管理者や主任の指示を仰ぐことができる	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・毎月のお便り等で伝えている ・毎月ブログを定期的に更新している ・行事予定など施設内にわかりやすく掲示することによって、子どもたちの参加したい気持ちを促し、尊重している ・行事前には必要な持ち物等を個別にお知らせしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・鍵付きの書庫にて管理しており、保護者に渡す用の書類などの渡し間違いを防止するために個別のクリアファイルを常備している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・特性に合わせた対応や助言を実施している	・全職員が障害特性を理解できているかが課題
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		・機会を増やせるよう改善策を検討 ・YOSAKOIや運動会などで招待はしているが、法人全体の取り組みであるため事業所の行事ではない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・契約時に災害計画を配布している	・避難訓練は行っているが、計画の内容についてわからないことが多い
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・避難訓練は全児童が参加できるよう実施曜日を毎月変更している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・服薬を開始した際には薬の名称を伝えてもらっている ・契約時に児童票を渡しており、そこに病歴等を記載してもらっている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・医師の指示書に基づく対応ではないが、保護者から対応方法を伝達してもらい、職員に周知している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		・義務付けられている計画は策定している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・家族へ周知されているか不明 ・安全計画の策定が必要な旨は契約時に説明しているが、内容について周知されていない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・毎月のミーティングで周知しており、改善策等はその場の職員で検討し決定している	・ヒヤリハットの件数が少ないので、気付ける意識を職員全員に持ってもらいたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止委員会を設立し、必要回数の研修を職員に受講してもらっている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	・身体拘束基準については虐待防止委員会で決定し、研修をもって全職員に周知されている	・現時点で対象児童がいないため、計画書に反映させていない